

調査票①（病院（指定介護療養型医療施設を含む。））（案）

調査内容等の問い合わせ先

TEL : \_\_\_\_\_、FAX : \_\_\_\_\_  
担当者名 : \_\_\_\_\_

1. 基本情報

以下については、平成21年6月1日現在で記入してください。

(1) 施設の名称について、都道府県知事の許可を受けている名称を記入してください。

病 院 名	
-------	--

(例) 医療法人社団〇〇病院 〇〇クリニック

(2) 貴施設の住所について市町村名から記入してください。

住 所	
-----	--

(3) 貴施設の設置主体は次のうちどれですか。

- ① 国 ② 独立行政法人 ③ 国立大学法人 ④ 地方自治体 ⑤ その他公的（日赤、済生会、厚生連、北海道社会事業協会）  
⑥ 大学医学部附属病院（国立大学法人を除く） ⑦ 社会福祉法人 ⑧ 社会保険関係団体（全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団を含む。）  
⑨ 公益法人 ⑩ 医療法人 ⑪ 学校法人（大学医学部附属病院を除く） ⑫ 株式会社 ⑬ 個人 ⑭ その他

(4) 病床の種別毎の病床数、入院・外来患者数

① 病床の種別ごとに病床数を記入してください。

「療養」「精神」に指定介護療養型医療施設がある場合には、その病床数を再掲で記入してください。

② 入院及び外来患者数は平成21年6月における1日平均入院患者数及び外来患者数を記入してください。

(単位：床、人)

病 床 種 別	一 般	療 養		精 神		結 核	感 染 症	合 計	
		指 定 介 護 療 養 型 医 療 施 設 (再 掲)	指 定 介 護 療 養 型 医 療 施 設 (再 掲)	指 定 介 護 療 養 型 医 療 施 設 (再 掲)	指 定 介 護 療 養 型 医 療 施 設 (再 掲)			指 定 介 護 療 養 型 医 療 施 設 (再 掲)	指 定 介 護 療 養 型 医 療 施 設 (再 掲)
病 床 数									
入 院 患 者 数									
外 来 患 者 数									

回 答

2. 就業状況

(1) 就業形態別の看護職員数

- ・ 平成21年6月1日現在在籍している保健師数、助産師数、看護師数、准看護師数（休業・退職者含む）について記入してください。
- ・ 複数免許を有する場合は、実際に行っている業務に最も関係する資格欄に記入してください。従って、例えば、助産師と看護師の免許を所有していても、看護業務を行っている場合は「看護師」欄に記入することとなります。
- ・ 非常勤の就業時間については、各施設で勤務している非常勤全員の週の所定労働時間の合計を記入してください。
- ・ 非常勤の常勤換算については、就業時間を各施設の週の所定労働時間で除して算出し、週の所定労働時間が40時間を超える施設については、週の所定労働時間を40時間として算出してください。  
なお、短時間正規雇用も非常勤と同様に記入してください。
- ・ 「短時間正規雇用」は、通常のパートタイマーとは異なり正規雇用の職員に近い雇用形態をとる職員。  
雇用期間の定めがなく、社会保険の適用、退職金の支給、昇進昇格、教育訓練や福利厚生などの適用などが正規雇用職員と同様等の職員

(単位：人)

	常 勤	非常勤			短時間正規雇用			就業者合計	
		実 人 員	就 業 時 間	常 勤 換 算	実 人 員	就 業 時 間	常 勤 換 算	実 人 員	常 勤 換 算
保 健 師									
助 産 師									
看 護 師									
准 看 護 師									
計									

(2) 休業・休暇の取得状況

- ・ 平成20年度の取得状況について記入してください。

	年次有給休暇	育児休業	介護休業	その他の休業・休暇
取 得 者 数 ( 人 )				
平 均 取 得 日 数 ( 日 )				

(3) 採用の状況

- 平成20年度の採用状況について、下記の表により、どの業務について採用したか各区分に記入してください。
- 複数免許を有する場合は、実際に行っている業務に最も関係する資格欄に記入してください。従って、例えば、助産師と看護師の免許を所有していても、看護業務を行っている場合は「看護師」欄に記入することとなります。

※「再就業者」とは、直前の職場（看護職員としての業務の有無に関わらない）を退職してから1年以上経過している者を言います。

※県内外については、出身養成所等の所在地のことをいう。

(単位：人)

	新卒新人（免許取得後看護業務に従事して1年未満）							経験者（免許取得後看護業務に従事して1年以上）							
	常勤			非常勤			合計	うち再就業者（再掲）			常勤	非常勤	合計		
	県内	県外	小計	県内	県外	小計		常勤	非常勤	合計					
保健師															
助産師															
看護師															
准看護師															
合計															

(4) 退職者の状況

- 平成20年度に、常勤職員の退職者はいましたか。また、「② 退職者あり」の場合、何人でしたか。

① 退職者なし

② 退職者あり→ ( ) 人      うち新卒新人 ( ) 人

回	答

3. 今後の看護職員配置計画

(1) 以下の増減要因を勘案して、平成27年の需要人員数を見込んで、以下の表に人数を記入してください。

現状の看護職員数については、上記質問2(1)．就業形態別の看護職員数と一致します。

今後の配置計画が未確定の場合は0と記入してください。

増減要因が重複する場合には、主要な増減要因の箇所に記入してください。

※全ての要因について、現状を踏まえ、改善可能と判断される場合の需要増加人員数を記入してください。

増 減 要 因				平成27年までの 増加人員数(人)
①病床数の増減等				
要因	時期	病床種別	病床数	
増床				
減床				
②病棟・外来部門の充実・見直し				
(再掲) 院内助産所・助産師外来における助産師の配置				
(再掲) 専門・認定看護師の配置				
③病院管理・看護管理部門の充実・見直し				
④訪問看護部門の充実・見直し				
⑤研修体制の充実・見直し				
⑥勤務環境の改善				
⑦その他				
合 計				

(例) 施設基準の充実(13:1→10:1等)、特殊診療部門(ICU,CCU等の取り扱い等)、医療ニーズの高い外来患者や日帰り手術の増加、労働時間の見直し、夜勤体制の見直し等

(例) 労務管理・研修企画などのマネジメント機能の強化、リスクマネージャーの配置、地域医療連携を図るための退院調整担当者の配置、労働時間の見直し、夜勤体制の見直し等

(例) 在宅療養の増加、在宅ケアの推進等

(例) 新人看護職員研修、医療安全研修等

(例) 年次有給休暇取得日数の増、育児休業及び介護休業取得者数及び取得日数の増  
※ 次の計算式を参考に貴施設の計算方法に基づき計算してください。

(休業についての参考計算式)  

$$\{(\text{平成27年の取得者数} \times \text{平成27年の1人当たり平均取得日数}) / \text{平成27年の1人当たりの年間労働日数}\}$$

$$- \{(\text{平成20年度の取得者数} \times \text{平成20年度の1人当たり平均取得日数}) / \text{平成20年度の1人当たりの年間労働日数}\}$$

(2) 平成23年から平成27年の看護職員配置計画について、以下の表に人数を記入してください。

- ・ 上記3(1)の需要人員数をもとに、各年ごとに、今後必要な看護職員数を見込んで、常勤換算の人数を算定してください。
- ・ 平成21年6月現在については、上記質問2(1)就業形態別の看護職員数と一致します。
- ・ 将来の配置計画が未確定の場合は、上記3(1)の需要人員数を均等に、「平成21年6月現在」に加えた上で平成27年まで記入してください。

(単位：人)

	平成23年		平成24年		平成25年	
	看護職員	助産師(再掲)	看護職員	助産師(再掲)	看護職員	助産師(再掲)
常勤換算						
	平成26年		平成27年		/	
	看護職員	助産師(再掲)	看護職員	助産師(再掲)		
常勤換算						

4. その他

(1) 平成20年の常勤職員退職者について、主な退職理由の上位3つを記入してください(上位から順に①、②、③と記入してください)。

また、新卒新人の主な退職理由の上位3つを記入してください(上位から順に①、②、③と記入してください)。

○ 常勤退職者の主な退職理由の上位3つ

出産・育児		労働条件への不満	
結婚		看護内容への不満	
本人の健康問題		人間関係	
家族の健康・介護問題		定年	
転居		その他	
進学		不明	
他分野への興味		/	/

※「その他」に記入した場合には、下記に具体的な内容を記入してください。

[ ]

○ 新卒新人の主な退職理由の上位3つ

基礎教育終了時点と現場とのギャップ		新卒新人が看護の仕事の魅力を感じにくい状況にある	
現代の若者の精神的な未熟さや弱さ		医療事故を起こす不安が強く萎縮している	
看護職員に従来より高い能力が求められるようになってきている		看護業務が整理されていないため、新卒新人が混乱する	
個々の看護職員を「認める」「ほめる」ことが少ない風土		若者が置かれた社会的状況が経済的自立の必要性を弱めている	
現場の看護職員が新卒新人に教える時間がなくなってきている		その他	
交代制など不規則な勤務形態による労働負担が大きい		不明	
新卒新人を計画的に育成する体制が整っていない			

※「その他」に記入した場合には、下記に具体的な内容を記入してください。

( )

(2) 看護職員の定着促進に対する取り組み状況

看護職員の職場定着を促すために効果をあげている対策を上位から順に3つ記入してください(上位から順に①、②、③と記入してください)。

看護組織の改善		休憩室等の職場環境の改善	
給与の増額		看護師の副院長職への登用	
夜勤回数の減少		週休2日制の導入	
看護業務の改善		短時間勤務	
宿舎の確保		悩んでいる時の相談窓口を (直属上司以外に)設けている	
院内保育の充実			
研修体制の充実		その他	

※「その他」に記入した場合には、下記に具体的な内容を記入してください。

( )